

子どもの育ちを支える協働と共創

Part 2 保育の本質を一緒に考え、共に創る


主催：東京家政大学地域連携推進センター 後援：狭山市保育幼稚園課・入間市保育幼稚園課

講座 1 こどもまんなか社会とは？
～大人を中心とした社会からこどもまんなか社会へのパラダイムシフト～

11/9±

申込締切 10/26±

講師 千葉 弘明 東京家政大学子ども支援学部准教授




講座 2 育児担当制から0歳児の育ちを考える

11/16±

申込締切 11/2±

講師 細井 香 東京家政大学子ども支援学部教授




講座 3 次世代育成に求められる「アート思行」
～創造的な感性を育む思考と行為の往還的な学び～

12/7±

申込締切 11/23±

講師 保坂 遊 東京家政大学子ども支援学部教授




講座 4 明日の保育に生かす保育実践

12/14±

申込締切 11/30±

講師 河野 崇 東京家政大学子ども支援学部特任講師



会場 東京家政大学狭山校舎 時間 各回 10:00~12:10 120分(休憩 10分)

受講料 各回《一般》3,000円 《本学学生》1,500円
※申込締切後、振込用紙を郵送いたします。(別途、事務手数料として300円負担となります。)

定員 各回30名 対象 幼稚園教諭、保育士、保育教諭等 持ち物 筆記用具

Tokyo Kasei塾 2024 受講申込書

※必要事項を記入の上、右記QRコードまたはメール・FAX・郵送にてお申込みください。お電話でのお申込みは受付けておりません。
※メールにてお申込みの場合、メール受信後に当センターより確認の返信をいたします。返信がない場合は、お電話にてお問い合わせください。



ふりがな				勤務先名	所属	
お名前	年齢	勤務先名		学部	学科	学年
ご住所	〒		希望講座名(番号)	(勤務先または自宅)		
			電話番号	(携帯)		



東京家政大学 地域連携推進センター 〒350-1398 埼玉県狭山市稲荷山2-15-1
TEL 04-2955-6959 FAX 04-2955-6929 E-mail chiikioubo@tokyo-kasei.ac.jp
URL <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/society/commulic/index.html>
(受付時間/平日 9:00~17:00 土曜 9:00~12:00)



大学HP

講座 1
11/9

こどもまんなか社会とは？

～大人を中心とした社会からこどもまんなか社会へのパラダイムシフト～

こども家庭庁は、こども政策・施策の基本理念として「こどもまんなか社会」を掲げ、昨年度、こども基本法に基づき「こども大綱」を閣議決定しました。「こども大綱」の基本方針には、こどもが権利の主体であることが示され、こどもが政策・施策の当事者として意見表明する権利等が保障されたことで、これまでの「大人を中心とした社会」から「こどもまんなか社会」へのパラダイムシフトがなされようとしています。本講座では「こどもまんなか社会」とは何か？実現するためにはどのような取り組みが必要なのか？皆さんと考えたいと思います。

千葉 弘明 (ちば ひろあき)

PROFILE
保育士養成校の教員として20年が経ちました。現在は東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科に所属し、主に保育実習指導（施設）、子ども家庭福祉、社会的養護概論を担当しています。質の高い保育士養成を目指した効果的な施設実習の教授法、保育士における保育倫理の捉え方や倫理綱領の活用方法などを研究しています。これからの研究課題としてはチルドレンファースト（子ども最善の利益）を目指した施設支援について取り組みたいと思っています。

講座 2
11/16

育児担当制から0歳児の育ちを考える

この講座では、その時のその子どもの心もちを大切にしながら、0歳児の育ちとはどういうことなのか、育ちにとって大切にしたい関わり方とは何かについて、緩やかな担当制から育児担当制への実践をもとに、一緒に考えてみませんか？この講座を通して、自園の保育を振り返り、他園の保育を学びながら、情報交換の輪が広がることを願っています。

細井 香 (ほそい かおり)

PROFILE
東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授。医学博士。日本アタッチメント育児協会理事。東京都家庭の保育者の会顧問。専門科目：家庭支援論、乳児保育、子どもの保健。自らも保育士経験を持ち、その後、北里大学医学部で医学博士号を取得。研究課題は保育施設向けICTヘルスケアシステム構築のための検討。保育者のキャリアアップ研修における効果検証に関する開発的研究。主な社会活動として日本アタッチメント育児協会理事、東京都家庭の保育者の会顧問、独立行政法人日本学術振興会審査委員、日本保育者養成協議会保育士試験作問委員、板橋区・葛飾区・入間市など多数の自治体主催研修会の講師を担当。

講座 3
12/7

次世代育成に求められる「アート思行」

～創造的な感性を育む思考と行為の往還的な学び～

近年、現代社会の様々な問題解決の糸口として、「アート」の有用性が着目されています。「アート」は美術を通して多面的な働きかけを私たちに与えてくれますが、その創作プロセスを通して、身体感覚から「思考」することと、身体活動を伴った「行為」との往還によって、創造的な世界や新たな価値を生み出す力を養う重要な役割を担っていると言えるでしょう。本講座では、造形表現活動によって育まれる「アート思行」を次世代育成の重要なキーワードと捉え、アートワークを交えながら共に考えていきたいと思っています。

保坂 遊 (ほさか ゆう)

PROFILE
東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科教授 臨床美術士1級 彫刻家 臨床美術学会／日本臨床美術協会副会長。大学で彫刻を学び、大学院では社会福祉学を学ぶ。幼児の造形表現教育に携わりながら、臨床美術の普及のため、沖縄県、宮城県での活動を経て、2014年より本学子ども学部（2023年4月子ども支援学部へ名称変更）に着任。科研費「多職種協働による芸術保育を主軸とした日常保育実践モデルの開発」、「発達支援プログラムとしての美術表現活動の確立へ向けた脳内ネットワークの解析」等の研究を推進し、美術が教育・福祉・医療に果たせる役割をテーマとして探求している。

講座 4
12/14

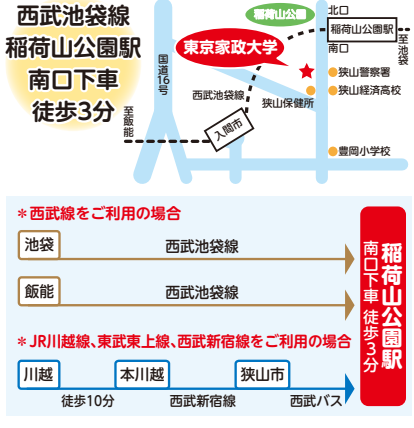
明日の保育に生かす保育実践

本講義では、明日の保育に生かす保育実践を学んでいきます。各園で取り組んでいる保育実践、地域の特色を取り入れた保育実践、先進的なテーマによる保育実践、近年関心の高まっている保育実践など、様々なテーマを基にした保育実践を学んでいく中で、保育現場で生かせる保育実践の参考にして、明日の保育を受講生同士で考えていきたいと思っています。そして、保育実践を共有をしていながら、自身の実践の振り返りをしていく中で、向上を図る機会にしましょう。

河野 崇 (こうの たかし)

PROFILE
東京家政大学子ども支援学部子ども支援学科特任講師。専門は、子ども環境学、保育・教育実践学。特に、ESD（持続可能な社会を目指す教育）の視点を取り入れた保育・教育実践について研究をしている。2018年～2020年に、保育士キャリアアップ研修会の講師として、現職の保育士を対象とした講座を担当する。著書に、「環境教育のラーニング・デザインアクティブ・ラーニングで学ぶ持続可能な社会づくり」（キーステージ21）共著、「環境コンパクト版保育内容シリーズ③」（一藝社）共著他。

交通のご案内
お車でのご来校はご遠慮ください。
ご協力をお願いいたします。



- 受講のご案内
- ★申込締切後、振込用紙を郵送いたしますので、期日までにコンビニエンスストアでご入金をお願いいたします。
※銀行・郵便局でのご入金はできませんのでご注意ください。
 - ★当日キャンセルの場合は、受講料の返金はいたしませんので、ご了承ください。その他キャンセルによる返金等につきましては、ホームページをご覧ください。
 - ★講師の都合によりやむを得ず休講にする場合は、後日補講を実施いたします。また、交通機関の運休・悪天候の場合は休講となることもあります。詳細はお問い合わせください。
 - ★個人情報、公開講座以外の目的には使用いたしません。
 - ★駐車場はありませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。
 - ★講座中、広報用として、写真の撮影をさせていただきます。撮影、使用に同意されない場合は、講座当日、お申し出をお願いいたします。
 - ★その他、注意事項など詳細はホームページをご覧ください。